

第4回丹波市市民憲章検討委員会議事録（摘録）

開催日時	平成31年4月26日（金）午後2時14分開会～午後3時20分閉会
開催場所	丹波市役所本庁中会議室
出席者	[委員] 玉岡かおる委員長、荻野祐一委員、酒井礼子委員、坂谷高義委員、安田和仁委員 [事務局] 企画総務部政策担当部長、総合政策課長、総合政策課政策係長、担当者
欠席者	[委員] 足立純子委員
傍聴者	なし
次第・資料	1 開会 2 あいさつ 3 協議事項 (1) 市民憲章案について 【資料1】丹波市市民憲章（案） (2) 市民憲章案パブリックコメントについて 【資料2】丹波市市民憲章（案）パブリックコメント（意見公募）実施要領 (3) 今後のスケジュールについて（予定） 4 その他 第5回検討委員会開催日程 令和元年 月 日（ ） 午後 時 分 5 閉会

会議摘録

発言者	発言の要旨
	<p>1 開会 それではただいまから第4回丹波市市民憲章検討委員会を始めさせていただきます。はじめに副市長のほうからあいさつをお願いします。</p> <p>2 あいさつ（鬼頭副市長） 皆さん、こんにちは。それぞれ各委員さんにはお忙しい中、委員会に出席を賜りありがとうございます。委員の皆さんに複数案を提示いただいた後、市で一定検討いたしまして、玉岡委員長に送って手を入れていただいて、本日、案をお示した状況でございます。この後検討をいただくということになっています。見せていただいて、ほんとにすばらしい案をいただいていると思います。丹波市の良さを短い中に入れていただいていますし、ふるさとを懐かしむだけでなく、未来へ向かってみんなのふるさとをつくっていくという意味合いが込められているのかなというすばらしい案が提示をされたなと思っております。本日は限られた時間ですが、よろしくをお願いします。</p> <p>3 協議事項 (1) 市民憲章案について</p>
事務局	<p>今回お示しさせていただいている案について、6月に議会の総務文教常任委員会に提案し、その後パブリックコメントを行い、9月定例議会に提案、議決をいただくという形で進めさせていただきたい。まず、前段の6月の委員会でお示しさせていただく中でいろいろな意見があるかと思う。そこを事務局側としてしっかり説明をしていきたいので、この案に込められた思い、意見を出していただきたい。</p>
委員長	<p>資料1の憲章案を委員長から説明を受ける。 委員の皆さんからすばらしい案を示していただいた。それを私が少しさわらせていただいた。委員の皆さんから出していただいたキーワードは漏らさずに入れたと思う。それ以前のタウンミーティングのときに出していただいたものも入れて案という形でここに出させていただきます。 これを骨とし、枝葉をどう加えるか、削るか、磨くか、忌憚のないアイデアをお願いします。</p>
委員	<p>未来への次は、はてしなくでいいですか、はてなくですか。</p>
委員長	<p>どちらでもいいと思うが、はてなくのほうが語呂がいいかと思い、そうした。どちらがいいか。</p>
委員	<p>はてなくでいいと思う。</p>
委員長	<p>降る（くだる）と享けながら（うけながら）、歓び（よろこび）は子どもでも読みやすいようルビを入れたらどうかと思うが。</p>
副市長	<p>句読点を入れているところと空白になっているところの使い分けはなにか意味があるのか。</p>

委員長	句読点のないところは、複合単語であるが、空けるほうがわかりやすい、目に訴えるということで空けている。句読点は、日本語の決まりとしてそこできったほうが意味も読みもわかりやすいというルールに従って区切っている。
委員	「おかえり」を合言葉というところに丹波市の優しさが出ている。
委員長	足りないとかもう少しこれを入れたらというのはどうか。
委員	「おかえり」というのは、なぜ「おかえり」なのかと言われたときにどう答えたらいいのかということがある。これが「ありがとう」ではいけないのかとか。家族というイメージからすれば出て行ったものを迎え入れるそういう温かさが「おかえり」に代表されるのか。
委員長	タウンミーティングのときに一番多く出た言葉なので、落とすのに忍びないということであえていれたというのが一番の理由。市民が感じている代表的な会話の文句が「おかえり」であった。あのタウンミーティングからとりましたということ。「いってらっしゃい」だと別れになる。これが象徴的な言葉だと感じた。
委員	丹波市がありがとうの里ということをしていたので、なんで「ありがとう」ではないのかという意見もあるかなど。
委員長	タウンミーティングのときにあれだけ出ていた言葉を盛り込まずにはできない。
委員	中高生にとっては「おかえり」というのが代表的なあいさつであったのではないかな。子どもを優しく迎え入れる包容力、地域の代表的な言葉が「おかえり」であった。
委員長	タウンミーティングのときに採取した一番多く出た言葉。本当の市民の声だと思う。
委員	「生きることに感謝して」というフレーズの中に「ありがとう」が込められている。それから、3行だけ2マス下げて書かれているところはなにか意味があるのか。
委員長	委員から提案された案のスタイルを使わせてもらった。それまでの説明文からその3行は簡条書き風になっているので、それはそのまま使ったほうがいいと思い、そのスタイルを使った。
委員	意味は分かる。子どもが学校で書くときに2マス空けたりという決まりがそのへん書きやすさを考えると…
委員長	子どもが書く分にはそのあたりは詰めて書いたり、この様式にこだわらなくてよいと思う。ただ、憲章とみたときに頭つまっているより簡条書きのところは空けたほうが見やすいと思った。
委員	子ども対象にみると、句読点があるところと空白になっているところがなぜそうになっているのか…教科書にはこういうのがないので。

委員長	詰めてもらっていい。見やすさだけ。詰めるときゆっとなる。憲章として出すときは目に見える感を大切にしたい。句読点では意味がきれる。憲章は普通の文書ではないので、こういうふうに使ってよい。テクニックとして使った。
委員	聞くとなるほどなと思う。
委員長	詰めても問題がないが、見やすく、読みやすくに主眼を置いた。
委員	場面が展開するのにはよいと思う。
委員	「夢つないでいきます。」になっているが、「夢をつないでいきます。」と「を」を入れなくてもよいか。
委員長	こちらは事務局から「夢」という言葉を入れられませんかということで入れた。「を」を入れてもよい。
委員	「夢つなぐ」のほうがきれいな感じはするが、文法的には「を」が入るのでは。
委員	一般的には「を」が入るが、「を」がないほうが品がある。
副市長	この部分は事務局から依頼した分なので、もともとの委員長案は「よりよき時代をつないでいきます。」だった。夢を入れたことで原案と少し意味がかわってきている。
委員長	夢つなぐが主体になっている。私は丹波市の未来に長く続いていくようにいうニュアンスで時代につなぐということにした。夢がつながれていくということになっている。
委員	意味が違ってくる。
委員	「よりよき時代をつないでいきます。」というのは、ふるさとをつないでいく。
委員長	夢をどこに入れるかと考えるとここかなと思う。
副市長	「よりよき時代を」とすれば今よりよき時代でそれを未来へつないでいく。「よりよき時代に」となると、今がよりよき時代かということではなくて、将来よりよき時代でそこに夢をつないでいくということで少し現状認識が違ってくる。
委員長	今より悪くはなあってほしくないので、「よりよき」は必要。
委員長	文末の句読点はどうするか。句読点がなくとも意味が切れるので、文末の句読点はとる。空白はどうするか。
委員	このままでよい。他になにかあるか。
事務局	フリガナについて、唱和をするということや障がい者の方に配慮をするというユニ

	<p>バーサルな点からふらせていただいた。そのあたりのことと明日の読み方について協議をお願いしたい。</p>
委員	<p>小さい子にも読めるので、ふるほうがいいのでは。</p>
委員長	<p>フリガナはすべてにふるということによろしいか。</p>
委員	<p>それでよい。</p>
委員	<p>それぞれ地域の特色である名称があるほうがイメージが沸くが、言葉がきれいなので、名所旧跡がないほうがいいと思うが、なぜ入らないのかという人もいるのでは。</p>
委員長	<p>もともと委員から提案いただいたものには具体的な名称は入っていなかった。人のイメージと風土のイメージが書いてあった。</p>
副市長	<p>明日の読み方はどのようにしたらよいか。</p>
委員	<p>「あす」のほうが歯切れがよい感じがする。</p>
委員長	<p>口語のときは「あした」というが…</p>
委員	<p>こういう場合は「あす」のほうがいいかもしれない。</p>
委員長	<p>それでは「あす」にしましょう。</p>
事務局	<p>先ほど言われた6地域が入っていないということは、目指す市民憲章というのが最初に確認させていただいたところであるんですが、市民によりよいまちをつくろうという気持ちを表した前向きなものであることと先人から受け継いだ歴史と伝統をいとしく感じられること、このまちとともに生きているということを誇りに思えるものであることを踏襲したものであり、6つの町の特色を出すものではないということではよいのではと思う。また、明日の読み方は言葉の響きやリズム感を大切にするとすることを市民憲章の表現として決めているので、説明ができるのではないかと思う。</p>
事務局	<p>こちらから提案しておきながらだが、一番最後の「夢」を入れるかどうかというところはどの形がおさまりがよいのか。</p>
委員長	<p>事務局の意見も大事だと思う。夢という言葉を入れるならここだと思う。夢を入れないなら、「よりよき時代を」にしたほうがいい。</p>
副市長	<p>夢という言葉を使わないという選択肢があれば、こちらから提案しておいてなんですが…</p>
委員	<p>子どもは夢という言葉が好き。</p>
委員長	<p>せっかく出た意見なので、入れておいてもよい。</p>

	「さと」という言葉が多く出ていたので入れたかったが、ふるさとだけになっているので、気になっているがどうか。
委員	ふるさとに含まれているので、これでいいと思う。
委員	「よりよき時代をつないでいきます。」のほうがストレートでわかりやすい。夢という言葉でワンクッションあるような気がしないでもない。夢という言葉を入れるなら、「希望に満たされるまち」を「夢に満たされるまち」に変えては。
事務局	そういった意見も事務局内でもあったが、希望はしっかりしたものであって、夢は漠然としたものということで希望のほうがいいということになった。
委員	夢を入れるならやっぱり最後。
委員	夢つなぐとなると別物に感じる。
副市長	原文ができあがるまでは夢を入れてほしいと思っていた。2つの文章を比べると委員が言われるように夢がないほうがすっきりいくような気はする。こちらが提案しておいて言いにくい。
事務局	説明もしやすい。よりよき時代をまだ見ぬ子孫につないでいくのが今いる私たちの役目であるといえる。ここに夢が入ることで説明が少ししづらくなっている。
副市長	何をつないでいくのかという意味が変わってくる。夢なのか、今のいい時代なのか。つないでいく目的語が変わったので、夢よりもよりよき時代をつないでいくというのがいいのではないかと議論を聞いていて感じた。
委員	そのほうがはっきりする。
委員	「よりよき時代をつないでいきます。」に原案のまま。
委員長	それでは、夢は入れずに原案のまま、全てにルビをうつことでよろしいか。
委員	それでよい。
委員長	これで議会に提出して意見が出た場合は。
副市長	よい意見が出れば、再度この委員会に返す。
委員長	委員会としてはこれで市に示していく。
事務局	(2) 市民憲章案パブリックコメントについて 資料2に基づき、説明する。 これを踏まえて最終的に特に意見がなければ今のままで9月定例会にお示しさせていただきたい。たくさん意見が出れば再度委員会を開催し、再度ご議論いただき、最終決定していただく。

その後、11月2日の市政15周年式典で委員長に市民憲章を初唱和していただく。

(3) 今後のスケジュールについて（予定）

6月18日の総務文教常任委員会に市民憲章案について報告

6月末から7月にかけて1ヶ月間パブリックコメント募集

9月定例会に上程

11月2日の市制15周年記念式典で初唱和

4 その他

第5回委員会の日程は、パブリックコメントの結果次第で開催するかどうかも含めて調整。